

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ク レ オ

代表者の役職名 代表取締役社長 川畑 種恭

(JASDAQ コード番号 9 6 9 8)

問い合わせ先 執行役員 小池 博

TEL 0 3 - 3 4 4 5 - 3 5 0 0

平成 18 年 3 月期業績予想の修正並びに配当予想の修正について

平成 17 年 10 月 21 日付当社「平成 18 年 3 月期中間決算短信(連結)」において発表いたしました平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想及び配当予想を下表の通り修正いたします。

記

1. 業績予想及び配当予想修正について

①平成 18 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	11,000	290	160
今回修正(B)	10,600	△110	△260
増減額(B-A)	△400	△400	△420
増減率	△3.6%	-%	-%
前期(平成 17 年 3 月期)実績	9,097	△581	△872

②平成 18 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	15,000	340	130
今回修正(B)	14,500	△50	△260
増減額(B-A)	△500	△390	△390
増減率	△3.3%	-%	-%
前期(平成 17 年 3 月期)実績	11,010	△416	△826

③配当予想の修正について

当社は、「1株当たり普通配当を10円として業績に裏付けられた成果配分を実施する方針」として、当期の期末配当金予想を1株当たり10円と発表してまいりましたが、当期につきましては、上述業績予想の修正通り当期損失となる見込みです。

よって、誠に遺憾ながら当期の期末配当金は見送らせていただきたいと思います。

## 2. 修正理由

### (1) 通期業績

CBMS事業における売上及び利益の計画未達が主な要因です。

#### 1) 販売状況

計画を達成できなかった要因は、①当期末の顧客検収に向けた稼動テストにおいて、障害が予想よりも多く発見され、品質管理体制の強化を優先して取り組み、年度末に向けての受注活動を手控えたこと、②前述の要因により、一部の顧客検収が来期にずれ込むこと、③OEM等の大型商談を見込んでおりましたが、今期中の成約案件が現状不確定であること、等であります。

#### 2) 品質改良について

製品の品質管理体制の強化に伴い、コストが増加しました。なお、この対応は翌年度の第1四半期までには目処がつく予定です。

これらの結果、売上高は10,600百万円、経常損失は110百万円、当期損失は260百万円となり前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。

### (2) 通期連結業績

当社の業績修正と同様であります。

なお、通期業績見込を改善すべく全社をあげて鋭意努力中ではありますが、予想値については未確定要素を含んでおり、今後の業況の変化により、実績値は予想値と異なる場合があります。また、CBMS事業の状況については、逐時状況を報告させていただきます。

以上